

ザ中山

NAKAYAMA

峠スペシャルたちのメインステージ

走るほどに、その醍醐味がわかるCIRCUIT。STREETじゃとても味わえないFEELING。
好きだぜ！ CIRCUIT大激走！！

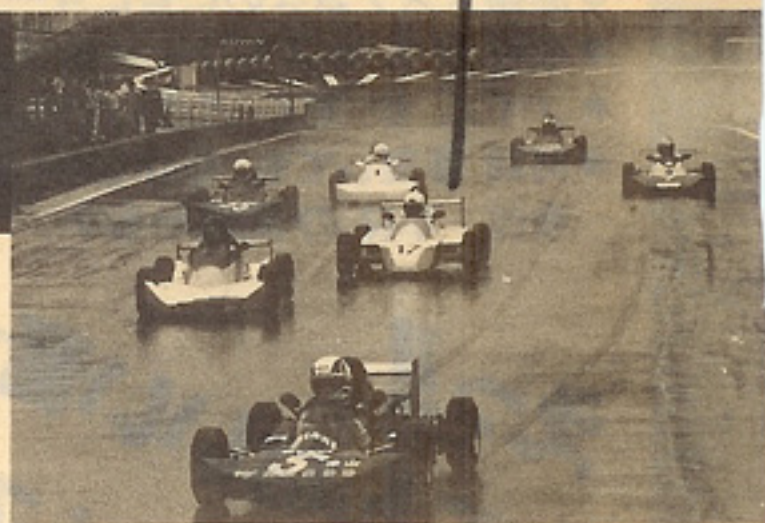
アップダウン、タイトコーナーの連続する トリッキーなコースそれが中山だ！！

岡山県の和気郡和気町に位置する中山サーキット。JAFの公認コースとしても知られるが、近畿の“走り屋”のメッカでもある。

全長1,550mのショートコースで、もともと初心者向けに設計されたコースらしいが、いざ走ってみるとかなりの難コースとも思える。カーブとの勾配が複雑に組み合わさっているのだ。

アップ&ダウンと思えば、トリッキーなコーナーの連続。1周は16のキツイRから構成されており、走りのフィーリングはまるで、フツの峠を攻めているようなもの…。

初心者には、曲りくねったドライブコースかもしれないが、マシンとウデを試すにはもってこい。ワインディング・ランナー志向の人にとっては、お勧めのポイントなのだ。



ちなみに、ここのベストタイムレコードは54秒98。岡山のチューニングショップ・チェックのB 110サニーを駆る棚田昭氏が記録している。

好きだからラップを重ねたい 中山サーキットを走るには

さて、近畿の“走り屋”のメッカ中山サーキットを走るには？

ノーマルからギンギンのチューンドカーまで、ビギナーからベテランまでが全部一緒に走れるのは、最寄りの中古車屋さんやカーショップが催している、走行会が手軽だろう。CRでもコラムのコーナーで毎月紹介している。

また、中山サーキットの会員になれば、フリー走行も可能だ。会員になれば、予約した時間で好きなだけ走れるというわけだ。

少しハイレベルになると、中山で恒例の「NCHK」や「ウエストジャパンツーリングカーレース」「カスターカップレース」の参加をお勧めしたい。

「NCHK」は年12戦(走行会)を基本に、毎回100人以上がエントリーする。参加するには、入会金とサーキットでのルールを守ればOKという簡単なもの。現在、約800人の会員がいるとか…。

クラスは、タイヤがレーシング・ラジアルの排気量3500ccまでの改造

無制限「T 3500」。ストックタイヤOK、排気量無制限「TS」などのクラスがあるが、レギュレーションは細くなるので詳しくは事務局に問い合わせた方がいいだろう。

「ウエストジャパンツーリングカーレース」は、年10戦を基本に開かれる、JAF公認レースだ。A級ライセンスの所持と、入会金でOK。

毎回参加者は100人以上という賑やかなもので、そのクラスは、排気量1000cc以下のニッサン・マーチのワンメイク「NP-I」。排気量1001cc～1300ccまでのKP-61のワンメイク「NP-III」。排気量1301cc～2000ccまでのシングルカムの車種自由「NP-III」。排気量1301cc～1600cc

